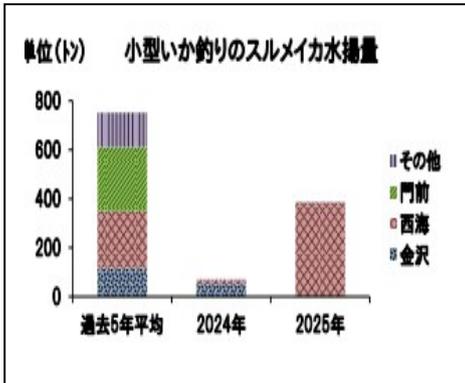


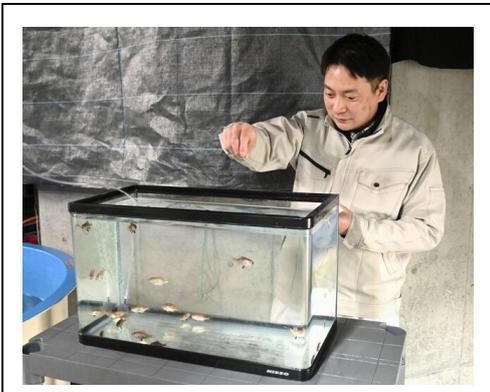
**Yamaka Topics ヤマカトピックス**

**石川スルメイカ 昨年の5.4倍**



石川県水産総合センターによると、5月～6月20日のスルメイカの県内水揚量は前年同期の5.4倍の386トンでした。能登半島地震の影響で低調だった前年を大きく上回ったが、過去5年平均と比べると半減しているそうです。復旧工事の影響で水揚げ漁港が限定され、同期間の延べ出漁隻数が半減していることが要因とされています。1隻あたりの水揚げ箱数は5年平均を上回っており、県沿岸の来遊量が多いそうです。

**ノドグロ養殖技術「一歩一歩」**



富山県水産研究所はノドグロを大きくする技術の研究をしています。人工的に卵から稚魚まで育てると100%近くオスになるそうですが、メスはオスの魚体の2倍近くにもなり生産効率が良く、放流する場合もメスの割合を増やさないと資源バランスを壊すので、如何にメスを増やすかが課題となっていました。大豆に含まれるイソフラボンを餌に配合することでメスの割合が高まったそうです。メスとオスの割合を1:1の比率に近づけ26年の放流を目指しています。

**8月の主な魚**

魚種	県内産地
コソクラ	金沢、能登
岩カキ	能登、
アカカレイ	能登
バイガイ	珠洲
アカイカ	金沢、美川
サザエ	輪島、西海
トビウオ	美川、押水
スズキ	金沢



**入荷状況&商品情報**



8月一杯は底引き網が禁漁です。

刺し網、巻き網、定置網主体の入荷になります。今年も巻き網のプリの入荷はありますが少なめ。岩カキはお盆を境に量、質ともにピークを迎えます。(8月いっぱい 能登)

カレイやバイガイなどは刺し網で漁獲されません。バイガイの現在の入荷は島根産がメイン。(能登、珠洲) アカイカは九州産、地物入荷あり。中、小サイズ中心(美川、金沢)

サザエの入荷は潤沢です。今年はスズキも順調に入荷。価格も割安。品質も良く、お造り、焼き物などに。トビウオ(カクトビ)はあっさりとお刺身で。マルトビはフライなどで。(写真はカクトビ) 養殖プリ、カンパチ、シマアジ等は高値推移。